

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共施設に係る整備、 維持補修又は維持運営 等措置	市道横田住宅団地1号線道路改 良事業	益田市	5,582,500	5,442,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		益田市		
交付金事業実施場所		益田市横田町地内		
交付金事業の概要	<p>本事業は市道横田住宅団地1号線のうち、起点側の120mの区間の道路改良を行う事業です。本年度は一部区間の道路改良工事を行います。</p> <p>益田市の管理する市道横田住宅団地1号線は、総延長320m、道路幅員2.8～4.3mの歩道の無い車道のみ幅員狭小道路です。「横田住宅団地」と呼ばれる40棟近くの家屋が密集する団地内の基幹道路です。このうち特に、市道の起点側120mの区間は団地内への出入りのための唯一のルートとなっています。一方で、起点側120mの区間は幅員が4mに満たず最小幅員3.6mと狭小で、車両同士の円滑な離合が困難な状況となっており、接触事故等、兼ねてから安全性に懸念があります。</p> <p>一般的には道路を拡幅改良することで離合の困難は解消されますが、起点部に防火用貯水池があるうえ、拡幅工事を行った場合、工事期間中の迂回ルートが無く、団地内への車両の進入が困難となる等の課題がありました。</p> <p>このほど、当該市道沿線の市営住宅が老朽化のため他地区へ移転となり、また、市営住宅と市道用地との間の民有地の買収も令和元年度に行ったことから、当該区間の改良については、現道を維持しながら並行するバイパス的な道路改良整備が可能となりました。このため、本交付金を活用することにより、当該区間について、幅員5.0mのバイパス的な道路を改良整備し、団地内を出入りする車両同士の安全な離合を可能とし、日常生活の利便性向上を図ろうとするものであります。</p> <p>平成30年度より本交付金事業を財源の一部として活用して、道路整備のための調査設計として、当該整備予定区間120mの測量を行い、ルート決定、並びに道路設計のための平面図作成、路線測量（中心線測量、縦断測量、横断測量等）を行い、（ルート決定、路線測量、道路設計については市単独事業で実施）用地測量を行い用地取得を行いました。</p> <p>令和2年度より道路改良工事に着手しており、今年度も引き続いて事業を行うものです。</p> <p>（令和3年度の実施内容）            施工延長 L=45m ・ 法面工 植生工 A=90㎡            ・ 排水構造物工 排水工 L=40m 側溝工 L=28m 管渠工 L=3m 集水柵工 N=1箇所</p> <p>次年度も引き続き工事着手を行い、令和4年度の供用開始を目標として事業を進めていく予定です。</p>			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標	<p>第6次益田市総合振興計画後期基本計画（令和3年度（2021年）3月）            基本目標Ⅳ：ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち            基本施策1：市内外のアクセスを確保する道路網整備                ⑤：市道（街路）・農道・林道の整備            地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、日常生活の利便性の向上を図ります。</p> <p>目標指標：市道改良延長            現状値（令和元年度）：511km            目標値（令和7年度）：514km</p>			
事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	令和4年度	

事業期間の設定理由	平成30年度に測量、設計、令和元年度に、用地測量、用地取得、令和2年度に工事着手を行い、令和4年度の供用開始を見込むため。				
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	市道のうち幅員が狭く離合が困難な箇所 の解消。	整備が完了した区 間÷整備予定区間	成果実績	%	
			目標値	%	100
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	市道横田住宅団地1号線道路改良工事が完了し供用が開始されるのが令和4年度であるため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	
	側溝の整備延長		活動実績	m	25	28	
			活動見込	m	25	28	
			達成度	%	100	100	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	1,962,360	3,495,499	7,173,100	5,582,500	総事業費23,000,000円（予定）		
交付金充当額	991,160	3,495,499	6,342,000	5,442,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	991,160	3,495,499	6,342,000	5,442,000			
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
	工事実施	指名競争入札	有限会社 吉村工務店（益田市）		5,582,500		
	計						5,582,500
交付金事業の担当課室	建設部土木課						
交付金事業の評価課室	建設部土木課						